

# 自然大好き ねいの里だより

57

## 森の指パッチン

よく晴れた日、森の中から音楽のリズムを取るように、パッチン、パッチンという指パッチンのような音が聞こえてきます。辺りを見渡しても誰もいないし、鳥のさえずりも聞こえません。

うくん、なんだろう？ 突然、足元にすごい勢いで何かが飛んできま

# 正体はミニUFOf!?

した。平たい茶色の小さな円盤です。もしかしたらミニUFOf? 飛んできた方向を見ると、細長い10センチ程の豆のさやがつかるとの先にたくさんぶら下がっていました。「なーんだ、フジの実の弾ける音だったのか!」と、やっと納得しました。

フジは、できるだけ遠くで子孫を増やしたいので、さやの弾ける力で種をフリスビーのようにビューンと飛ばしていたのです。それにしても、実の飛ぶ威力はすごい! (平野妙子)



上等な「ビロードのコート」を着たフジのさや



種でおはじきをして楽しむよ